



# さいたま市立谷田小学校 学校経営グランドデザイン



～「未来を拓くさいたま教育」を推進する「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」～

## 目指す学校像

希望にあふれ、明るく温かな学校

◆活気に満ちあふれ、学ぶ楽しさ、ふれ合う喜びがある学校

◆児童一人ひとりを大切にしている学校

◆環境整備の行き届いた安全で美しい学校

◆保護者や地域から信頼され、協働して児童の成長を支える学校

【国】・日本国憲法、教育基本法等関係法規  
・第2期教育振興基本計画  
・学習指導要領 等

【市】・さいたま市教育行政方針  
・第2期さいたま市教育振興基本計画  
～人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進～  
・さいたま市の学校教育推進の指針・指導の努力点  
・さいたま市小学校教育課程編成要領 等

校訓 **かしこく(知) 仲よく(徳) (コミュニケーション) たくましく(体)**

【学校・児童の特性】  
・開校147年の歴史と伝統を受け継ぐ学校  
・17学級でまとまりのある学校  
・明るく素直で協力的な児童

教育目標 **進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 力いっぱいやりぬく子**

【保護者・地域の特性】  
・学校教育に対する関心が高い保護者・地域  
・防犯や交通安全等熱心に取り組む保護者・地域  
・PTAや自治会等協力し合う保護者・地域

## 谷田小すこやかプラン<重点・努力点>

<合言葉>  
目指す児童の姿

**ニコニコ ハキハキ テキパキ**

### Grit: やり抜く力で真の学力を育成する

◆主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の充実  
◆基礎学力の確実な定着と体力の向上

- 1 立腰を定着させ、規律と集中力を高め、さいたま市の「よい授業」を実践する
- 2 学校課題研究を通して「主体的・対話的で深い学び」を追究し、国語科教育を推進する
- 3 指導方法を創意工夫し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る
- 4 朝学習や個別支援学習の充実と家庭学習の促進を図り、基礎的な学習内容の習熟を図るとともに、学習習慣を育てる
- 5 体育の授業や体育的行事の取組を充実させ、体力の向上を図り、生涯体育の基礎を養う
- 6 食育や健康教育を通して、健康的な生活態度を育てる

### Global: 国際社会で活躍できる力を育成する

◆豊かな人間性を育てる指導の充実  
◆グローバル・スタディの充実と国際教育の推進

- 1 道徳教育や人権教育の推進と教育相談の充実を図るとともに、いじめ等の問題への取組を通して、豊かな心の育成を図る
- 2 「6つの行動目標」の実践を通して、自立と社会生活の基盤をつくる生徒指導の充実を図る
- 3 交流・共同学習と大谷場中学校区の小中一貫教育を推進する
- 4 心を耕す読書活動の充実を図る
- 5 G・S(グローバル・スタディ)の充実を図り、外国語に親しみながらコミュニケーション能力を育てる
- 6 国際理解を深める活動や環境づくりを工夫し、国際教育を推進する

### Growth: 一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成する

◆スクール・コミュニティによる連携・協働の充実  
◆児童が生き生きと学び、活動する教育環境の整備

- 1 積極的に学校の情報を発信し、PTAや地域等との情報共有を図る
- 2 SSN(スクールサポートネットワーク)を活用し、地域ぐるみの学校支援体制を生かした教育活動を推進する
- 3 地域に開かれた教育課程を実践し、地域をフィールドとした生涯学習の基礎づくりを推進する
- 4 芝生の校庭や学校施設、美しく情報豊かな校内掲示の整備等、児童の活動や学びを支える環境づくりを推進する
- 5 健康、安全、衛生の管理を徹底し、児童が健康で安全に活動できる環境づくりを推進する

### 教職員のチーム力を発揮して、「3つのG」を推進する

◆教師十戒を肝に銘じ、「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめて伸ばす 谷田の教育」の充実

◆全体の奉仕者としての自覚をもち、「迅速、誠実、適切、アフターケア」「思いやりの報連相対確と協働共励」の実践

～教育に当たる者として、児童をよりよく育てるために～

～全体の奉仕者として、対応能力と組織力を発揮するために～

- 1 教育への強い使命感をもって「迅速、誠実、適切、アフターケア」を徹底し、機動力ある組織体制を維持・継続して、児童の生命と人権、健康と安全を守り、安心安全な環境の中で教育効果を高める
- 2 「報告・連絡・相談・対応・確認」を徹底し、個人や一部のメンバーで抱え込むことなく、常に信頼関係に立つチーム力で問題や課題の解決にあたる
- 3 校内研修とOJTを通して、教職員一人一人が教育公務員としての自覚を高め、専門性と実践力を磨く
- 4 教職員が心身の健康を損なうことのないよう業務の質的改善を図り、限られた時間の中で児童にとって必要な指導を適切に行うことができるようにする